# 自然の声に心潜めて

## 県民の森と啄木

～案内人　啄木ソムリエ　山本玲子～

**2023年9月3日（日）～10月30日（月）**

石川啄木が詠んだ岩手の自然。県民の森で味わってみませんか。



【山本玲子プロフィール】

啄木ソムリエ。1957年岩手県生まれ。岩手県立博物館勤務後、財団法人石川啄木記念館に24年間勤務。2013年11月に財団法人解散後、啄木ソムリエとしてフリーの立場で啄木の魅力と感動を伝えるべく活動中。岩手県県民の森の近くに暮らし、四季を通じて啄木が愛した岩手の自然に親しんでいる。

啄木は
林中の鳥なり。
風に随って
樹梢に移る。

### 県民の森の啄木鳥たち

キツツキは漢字で書くと「啄木鳥」。木を啄(ついば)む鳥。啄むは「鳥がくちばしでつついて食べる」という意味。キツツキの仲間は、くちばしが硬く先が尖っていて、毎秒約20回もの速度で木の幹をつついて穴を開け、中にいる昆虫などを食べたり、木に穴を掘って巣をつくっています。また、他の鳥のように雌への求愛や縄張りをアピールするための特定のさえずりを持っていないので、かわりに木の幹をつついて音を出す「ドラミング」を行います。県民の森で一年中見られる野鳥です。



赤啄木鳥（アカゲラ）雄
アカゲラやオオアカゲラは、雄の頭に赤い部分があるが、雌にはないので見分けられる。



赤啄木鳥（アカゲラ）雌



大赤啄木鳥（オオアカゲラ）
体がアカゲラより大きく、胸に縦斑がある。



小啄木鳥（コゲラ）
スズメくらいの大きさ。



緑啄木鳥（アオゲラ）雌
緑色。雄は額から後頭まで赤い。

### 「啄木」の名の由来　山本玲子

石川啄木、本名・石川一（はじめ）。「啄木」のペンネームを使い始めたのは、明治36年（1903年）12月の文芸雑誌『明星』に作品を掲載したときからでした。その頃、故郷の渋民村で病身を養いながら、文学への道を模索していた啄木でしたが、書斎近くの樹木にやってきて、樹木をたたく啄木鳥（キツツキ）の音に心を慰められ、ペンネームを啄木としたのでした。



**サイドテーブル**　2023年9月9日（土）5,000円

**干支の置物（辰）**　2023年11月26日（日）3,000円

場所：木材工芸センター
時間：9：00～15：30
定員：5名
着色料：別途1,000円
持ち物：昼食・ゴム手袋等

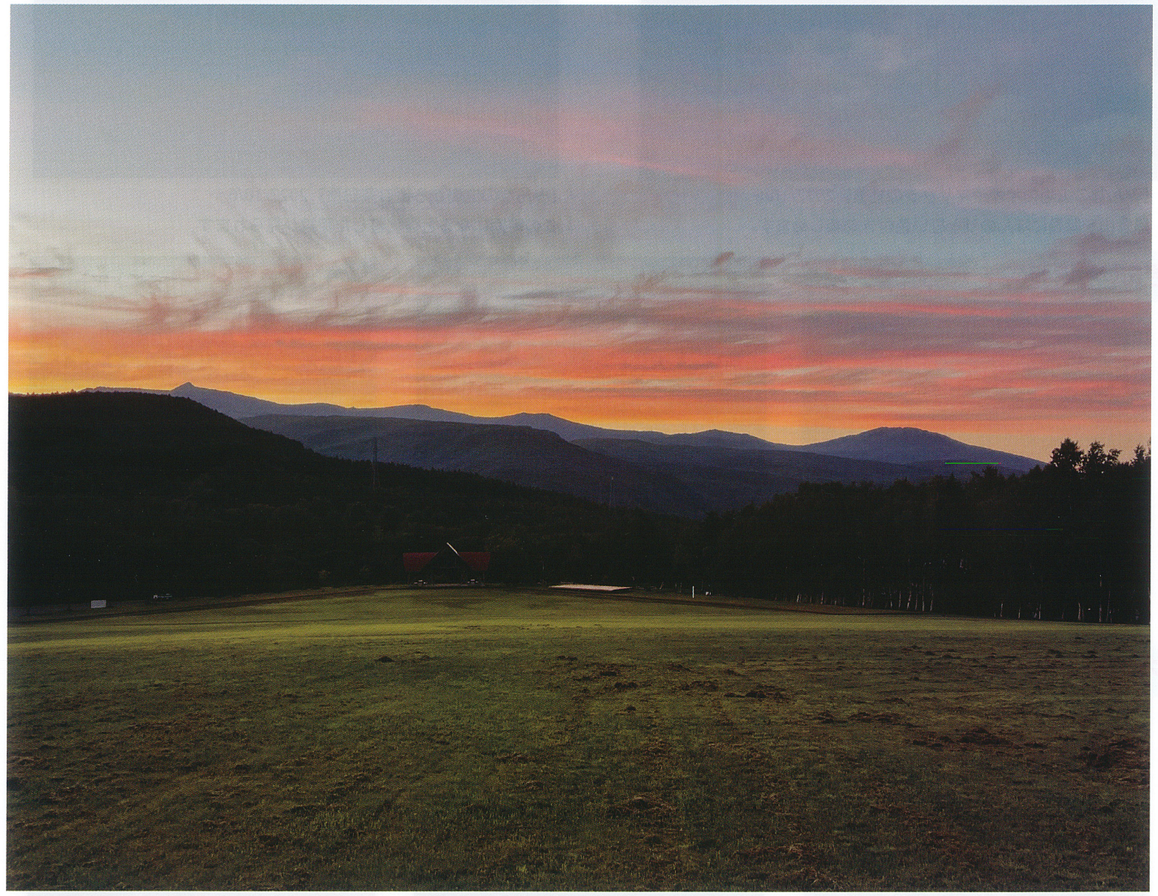
岩手県森林公園

# 県民の森だより

2023. 9
Vol.212

発行　岩手県県民の森
（公益社団法人
岩手県緑化推進委員会）

【毎月5日発行】



2022年9月9日18時　みんなの広場から望む八幡平

短い夏が終わり、秋がやってきました。もう半袖では寒くて、日によっては防寒着も必要になるほどです。空気が澄んで見上げる空も高く感じます。陽が沈むのが早くなり、夕焼けの美しい季節になりました。日に日に木々の彩りが鮮やかになり、これまでとは異なる装いに衣替えが始まります。

岩手県県民の森　管理事務所

※イベント等の最新情報はHP等でご確認ください。
※県民の森園内での植物採取は森林法により禁じられております。

〒028-7302
岩手県八幡平市松尾寄木1-515-5　森林ふれあい学習館フォレストアイ
TEL. 0195-78-2092　FAX.0195-71-1778
開館時間：9時～16時　火曜休館（祝日の場合翌日振替）

（旧Twitter）
@forest_iwate

## 秋の訪れ。

県民の森の紅葉の最盛期は 10 月中旬から下旬。早いものは夏の終わり頃から色付き始め、だんだんと色鮮やかに染まっていく様が楽しめます。春に咲くオオヤマザクラは、真っ先に色付く樹種のひとつ。山並みを背景に美しい紅葉の始まりをじっくりと味わえます。また、秋の実りも楽しみです。県民の森で秋の訪れを感じてみませんか？



【みんなの広場のオオヤマザクラの紅葉】2022/10/6
黒倉山を背景にほんのりと紅い色付きを楽しめます。



【みんなの広場から望む茶臼岳】2022/10/6
この時期になると雪化粧した稜線が見られます。

### 色付いてきた木々



【ヤマボウシ（ミズキ科）】 2022/10/7
早くから色付き始め、最盛期はシックな紅色になります。



【ヤマウルシ（ウルシ科）】2022/9/29
夏の終わりごろから最初に紅葉する木のひとつ。黄色・オレンジ・赤と多彩に色付きます。



【ナツハゼ（ツツジ科】 2022/9/26
ブルーベリーの仲間。色付きはじめた葉っぱは陽が差すと透けて美しいです。

### 木の実たち



【サワフタギ（ハイノキ科）】 2022/9/14
瑠璃色の実は宝石のようです。希樹園や A-16 付近などで見られます。



【ムラサキシキブ（シソ科）】2022/9/26
輝く紫色の仁丹くらいの大きさの実は、希樹園や A コースなどで見られます。



【コマユミ（ニシキギ科】2022/9/24
紅葉も最初に色付く木のひとつで大変美しいですが、実も可愛らしいです。

### ツリバナを愛でる



【ツリバナ（ニシキギ科）】2022/9/24
「吊り花」は実も吊られています。熟すと割れて中から朱色の仮種皮に包まれた種が出てきます。



【ツリバナの落ちた実の皮】2022/924
種は野鳥に食べられますが、実の皮は地面に落ちて、美しい落とし物になります。



【ツリバナの落ち葉】2022/9/17
ツリバナは紅葉も一際美しく、淡い黄色が赤く染まって、紅色になります。

## ヤマボウシの果実を食べるスズメバチ

ヤマボウシの果実は 1-2 ㎝の大きさのブツブツの球形です。じつはブツブツのひとつひとつが花の痕です。熟すと赤くなり、甘くて美味しい果実は動物や野鳥たちの大好物。虫たちも食べにやってきます。人間もジャムや果実酒に利用して楽しみます。



9/1　ヤマボウシの果実が色付き始めました。



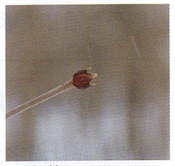
9/2　果実に穴が開いて中身がなくなっています。誰のしわざでしょう？



犯人はスズメバチ。上手に潜り込んで食べています。

## 県民の森の植物 66　　ミヤマガマズミ　（ガマズミ科）

同じ仲間のガマズミより標高が高い場所に多いことから、ミヤマ（深山）ガマズミと名付けられました。岩手山麓に位置する県民の森ではミヤマガマズミが自生しており、ガマズミは植栽されています。
花期は５月～６月。ガマズミよりミヤマガマズミの方が早く開花し、白い小さな花が集まって半球状に咲きます。秋に熟す果実は鮮やかな赤色になり、森のなかで一際目立ちます。甘酸っぱくて美味しく、森の動物や野鳥に大人気。人間も果実酒やジャムにして利用します。Aコースや七滝登山道で見られます。



冬芽　2月７日



花　６月５日



実　９月 17 日



紅葉　10 月 28 日



雪を被った実　12 月 16 日

## 県民の森　秋のイベント　　ご予約・問い合わせ　森林ふれあい学習館 ☎0195-78-2092

### きのこ教室

**2023年9月16日（土）**
**9：00 ～ 12：00**
定員：20 名　　参加費：2,000 円

講師に岩手菌類研究同好会の会員を迎え、園内できのこを採取して、講師からきのこの見かたや、毒食のポイントを学びます。好評のきのこ汁付。
【初心者対象】



### 八幡平紅葉まつり 【雨天決行】

【主催】（一社）八幡平市観光協会【共催】岩手県県民の森
**2023年10月14日（土）・15日（日）**
**10：00 ～ 15：30　　学習館裏第二駐車場にて開催**
・フリーマーケット・ステージイベント・グルメ屋台・木工体験コーナー・紅葉ウォーキング





### 七滝・魚止めの滝ツアー

**2023年10月21日（土）**
**8：30 ～ 15：00**
定員：15 名　　参加費：2,500 円

焼切沢にある「七滝」と、ガイドなしでは行くことの出来ない「魚止めの滝」を巡ります。美しい紅葉のなかの清々しい滝の流れは絶景です。
沢を渡渉しますので膝丈の長靴が必要です。
温泉券付。【山慣れた方対象】

